

## タイ研修 参加者の声

### 〈研究発表〉

半田高校生を対象とした睡眠に関するアンケート結果を元に、実際に昼休みに昼寝をした実験を行い、昼寝が授業の集中度に与える影響を考察し、その結果を発表した。英語での発表のため、視覚的にも伝わりやすいように表やイラストを用い、パワーポイントの機能のレーザーポインターを使いながら研究発表を行った。マヒドン高校の生徒からは、私たちが立てた仮説の過程について質問があり、グラフや表の表し方についてアドバイスをいただき、私たちの発表に積極的に興味をもってくれた。マヒドン校の生徒がアドバイスをしてくれたように、たくさんのデータの表し方がある中、どの表現方法が適切かを吟味し、より分かりやすく発表できるよう努めるべきだった。現在も異なるテーマでの研究発表の準備を行っているため、この経験から得た反省を活かし、より広い視野で伝わりやすい発表の工夫をしていきたい。また、私は質問に対して理解することができたものの、その場ですぐに英語で対応する難しさをより実感したため、スピーキング力を向上させていきたいと思う。

### 〈タイの寺院など伝統文化やタイダンスを体験したこと：日本との相違点、共通点〉

タイの伝統的な寺院は、日本のわびさびを感じるお寺などと異なり、きらびやかで色鮮やかな細かい装飾が付いている建造物が多かった。さらに、日本独自の歴史的な建物とは違い、カンボジアやスリランカの建築様式を取り入れたものもあった。街中には国王の肖像画などが飾られ、敬意を表する文化が根付いており、日本との違いを感じた。

タイダンスをマヒドン高校の授業で教わり、日本にある伝統的な盆踊りのように輪になって踊った。日本の盆踊りは仏教の念仏踊りだと知られているので、タイで多くの人々が主に仏教を信仰していることも関係しているのではないかと考えた。

### 〈マヒドン校の授業〉

英語、ミクロ経済学、生物、化学、料理、タイダンス、日本語の授業を受けた。日本で学んだことのある内容も一部あったが、授業の形式は半田高校よりも生徒中心のものが多かった。生物、化学の授業では、学校内にある植物がたくさん植えてある花壇に行き、その場で実験をしたり、数種類の薬品を用いて班で酸性とアルカリ性の色の変化を比較したりした。先生から教わることもあったが、その後グループで話し合ったり、生徒が発表したりしていた。

### 〈マヒドン校の生徒との課外活動〉

タイの伝統的な楽器を体験したり、日本が好きな生徒とルールをアレンジしたかるたを楽しんだり、夜9時近くまで楽器を演奏しながらJ-popや洋楽、タイの音楽を歌って踊ったりした。これらの課外活動を通じて、マヒドン校の生徒とより仲良くなり、楽しいひと時を過ごした。

#### 〈マヒドン校と半田高校との違い〉

マヒドン校では、自由度の高さを強く感じた。寮制ということもあり、夜10時までは学校内で自由に友達と過ごしたり、授業が始まるまでに好きな時間にカフェテリア・ミニマーケットで買った食事を食べたり、いつでもバスケットコートでバスケットボールができていたりした。いろんな生徒が色々なところで様々なことをしていて驚くことが多々あった。

#### 〈その他研修に参加した後の変化について〉

今回のタイ海外研修で、タイについて研修前にインターネットや本で調べた建物や調べても出てこないタイの日常生活の様子、私にとって現実味がない景色が目の前に広がっていた。一つ一つの景色や物事が新鮮で海外の国にますます興味が湧いた。また、学校で習ったことのあるタイの文化を実際に見て、異文化に対する理解がより深まり、タイだけでなく他の国にも行き、自分の五感で感じてみたいと思うようになった。

日本よりも恥ずかしがらない生徒は多く、私も思い切ってマヒドン校の生徒に話しかけることができた。マヒドン校の生徒が話してくれた内容が理解できなかったときには、黙って翻訳するのではなく、分からないと伝えることで、彼らはよりやさしく説明してくれた。分からないことを率直に伝えることもコミュニケーションの大切な一部だと実感しました。

タイにあるLIXILの工場を見学し、日本との違いや共通点を学んだ。日本の製品をタイで見つけたときには、日本企業の優れた技術を再認識した。

